

差出人: Hideharu Tomita <hidetomi@zc5.so-net.ne.jp>
送信日時: 2018年4月12日木曜日 16:01
宛先: 'tanaka yasuyuki'
CC: cardiogon2003@bun.bbiq.jp; ishikai-nishi@bun.bbiq.jp
件名: 心臓検診の報酬に関して

田中内科医院
田中 泰之先生

CC: 榎藤 秀之先生、西さん

本日はお疲れ様でした。

今回の心臓検診の改訂に関して、中身に関してはガイドラインに準拠するように、また、当地域に則したものに尽力しているところですが、心臓検診の報酬に関しては理事会などでの決議事項と思われますが、いくつか質問と要望があります。

昨年、心臓検診に参加した際にも、1回あたりの報酬額などに関して、私の認識不足でなければ、説明はなかったように記憶しており、今回の集団検診の4万円に関しても何となく、受け流していました。

確認をしてみると、昨年の集団検診は1回あたり、約1時間で35000円ということで、今回は単純に3時間の拘束になりますので、105000円のはずが、半額以下に減額されています。仮に105000円としても、昨年は延べ26人の医師を招聘していますので、 $35000 \times 26 = 910000$ 円の費用が、今年は $105000 \times 6 = 630000$ 円で28万円の人件費削減になります。今回の提示では $40000 \times 6 = 240000$ 円つまり、91万を24万に減額し、その理由が日曜当番の額を超えないという説明ということになります。私の報酬額の理解に多少誤りがあるかもしれません。

診療報酬にしても、診療内容により報酬額が異なるように、何をするかによって報酬が異なるのは当然で、単に日曜当番の額を超えないということでは納得しかねます。また、その減額した費用を何に使用されるのでしょうか？心臓検診に必要な物品にあてるとということにしても、説明が必要に思います。心電図の読影会に関しても結論を先送りされましたが、現場に十分な説明をするほうが先ではないでしょうか？

今回の改訂に関して、かなりの時間を割いておりますが、その結果が報酬の減額ということでは、協力頂く先生方にも申し訳が経ちません（先日の会合でかわち先生がこれではやる気がでないとされていた意味が今になって納得できた気がします）。

また、ワーキンググループの立ち上げのお願いを、榎藤先生、工藤先生に致しましたが、検診を1日に集約することにより浮いた人件費の一部を報酬として頂きたい思います。

また、心電図の読影会の費用を削減されることを考えておられるのであれば、そもそも、1700人分の心電図を2台のPCで1-2時間で読影できません。従って、私が、自分の時間を裂いて、事前に読影しようとしています。

来年度以降、適切な読影会をするために配分を変更するというのであれば、納得頂けるかと思います。

理事会などで十分な検討の上、決められたことかもしれませんが、少なくとも私には納得のいく内容とは思えません。先生を個人攻撃するための文章ではありませんのでご容赦下さい。

心臓検診の改訂には人的労力が必要です。ぜひ、ご理解の上、適正な対応をお願いできればと思います。

とみた内科循環器科
富田 英春（心臓検診グループリーダー）